

事業所名

スマートキッズジュニア本八幡(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

2025年

2月

27日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 			
営業時間		11時0分から	20時0分まで	送迎実施の有無	
		あり なし			
支援内容					
支援方法		個別課題		集団・小集団課題	
本人支援	健康・生活	季節や気温に合わせて健康を保つための服装の調整の課題 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題 生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題		教室に慣れ、安心して通うためのスケジュールの理解と流れに合わせた活動(〇〇教室ツアー、この前になにができるかな?等) 危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 身だしなみや清潔保持に関する知識習得のための活動	
	運動・感覚	活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 身体全体の機能向上のための粗大運動(例:ハードル、サーキット運動等)の課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題		模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 音楽と触れ合いながら身体的、感覚的感覚を入れる(リトミック等)。	
	認知・行動	物の概念(長さ・大きさ等)の獲得に関わる課題 知覚や認知に関わる色や図形を用いた課題(マッチング等) 見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題		物の概念(長さ・大きさ)の理解に関わる活動(どっちが大きいかな?、長さ比べ等) 興味・関心の幅を広げるための活動(これってなんだ?、好きな物どれだ?等) 空間把握の認知形成に関わる活動(パズル、ブロック遊び等)	
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等) 人との相互理解のコミュニケーション活動(顔き、拍手、OKサインの活用等)	
	人間関係・社会性	生活場面で必要な場面理解や他者の感情理解の課題(SST) 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題 集団への参加や集団での指示理解のための課題		社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 注意・集中を目的とした活動(30秒チャレンジ、落とさず進めるかな等)	
家族支援		保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。		移行支援	園、他事業所と利用者に対して支援対応を一貫するために、対応方法について定期的に連携を行う。 本事業所以外でも同様に取り組めるように支援の方法を共有する。
地域支援・地域連携		関係機関がそれぞれで得られた情報を共有すると共に役割分担を行い、当事業所でできる支援について明確に示し、利用者ひいては家族にとつてのQOL向上のための支援や将来に向けた対策について提案する。 各機関での対応や様子を確認し、日常生活でその対応を活かせるように保護者を含めて連携していく。		職員の質の向上	経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、不審者対応等)、療育参観、クリスマス会、卒業式、その他			